
デストルドー

紫媛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

デストルドー

【Nコード】

N9202J

【作者名】

紫媛

【あらすじ】

愛して、愛して。私は求める。抑えきれない死への欲動！

(前書き)

デストルドー Ⅱ 死の欲動

「ねえ、」

「」

「ねえ、こつちむいて。」

「」

タバコの灰が真っ白なシーツを黒くする。
小さな穴。

うつすらと香るキナ臭さ。

「ねえ。」

全てに興味を失った目が二つ、私に向けられる。
近くにあった灰皿を手に取り投げ付けた。
舞い散る灰に吸殻。

眉間に寄せられた皺に目をやる。

ジジジジ

手から離れた吸い掛けのタバコが染みを広げ、繊維一本一本を赤く
焦がしながら侵食していく。

白 赤 黒

捕まれる髪の毛、引きつる頭皮。

「痛い、痛い。」

真似して眉を顰めてみた。

刹那宿る光。

見逃しはしない。

「愛して、私を愛して。」

「」

「あいして」

ブチブチブチブチブチブチブチブチ

髪の毛が大量に抜ける音が鼓膜を震わす。
冷たい両手。

あなたはさつき生き返った。私を見て生き返った。
見逃しはしない。

愛せるでしょう？私を。

ヒュヒュ プチプチプチ ヒュヒュヒュッ

毛細血管が切れ顔面に浮き出る赤斑。醜い私。

気管は圧迫されても本能で呼吸する。延髄の私。

口の端からだらりと垂れた涎が冷たい手をぬめらせた。

「・・・あいして・・・」

酸欠の魚宜しく口をぱくつかせて精一杯伝える。

より一層深く突き刺さってゆく爪先。

脳細胞が死んでいく。溶解していく。

a i s i t e

執りつかれたように唇を動かそうとする私。
さよなら私。

大脳新皮質の私が狂喜した。

あなたは灰皿を拾い、再びタバコに火を付けた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9202j/>

デストルドー

2011年10月6日06時09分発行